



中川町 (北海道)
羽幌町 (北海道)
小平町 (北海道)
志賀町 (石川県)
金沢市 (石川県)
高山市 (岐阜県)
大船渡市 (岩手県)
陸前高田市 (岩手県)
伊賀市 (三重県)
中津川市 (岐阜県)
可児市 (岐阜県)
袋井市 (静岡県)
浜松市 (静岡県)
田原市 (愛知県)
南知多町 (愛知県)
天草市 (熊本県)
鳥羽市 (三重県)
津市 (三重県)

▲ (シカゴ) ▲ (浜松市) ▲ (オオスナモグリコバヤシトゲコブシ(田原市)) ▲ (ホクリクホタテオンマイシカゲガイ(金沢市)) ▲ (ワニ・コイ科魚類(伊賀市))



◀ 巡検の様子（上）大野市（下）田原市

古生代の化石～東北地方の化石とシカマイア～

東北地方の特に北上山地周辺には、古生代の地層が広く分布しており、三葉虫の化石産地もあります。中部地方からは遠いですが、会員の中には毎年巡検に行くつわものもいます。

また、古生代に生息した巨大な二枚貝「シカマイア」に興味を持ち、採集している会員もいます。



フィリップシア
岩手県 石炭紀



ディケネラ
岩手県 ペルム紀



コノフィリップシア (尾)
岩手県 石炭紀



シュードフィリップシア
岩手県 ペルム紀

中生代の化石～中部地方、北海道の化石～

岐阜県の北部から福井県にかけてジュラ紀～白亜紀の地層である手取層群が分布しています。勝山市では、恐竜の化石が発見されていますが、岐阜県北部の荘川町や福井県の大野市からはアンモナイトをはじめとする海に生息する生物や淡水貝類、植物化石が採集されています。これまで、友の会では継続的に巡検を行ってきました。他にも、三重県鳥羽市周辺の白亜紀の地層も対象に巡検を行っています。

その他、個人で北海道に出向き、アンモナイトを採集する会員もいます。北海道には、保存のよいアンモナイト化石を産出する蝦夷層群と呼ばれる白亜紀の地層が広く分布しています。本企画展では、道北の小平町、羽幌町、中川町から採集されたアンモナイト化石を中心に展示します。



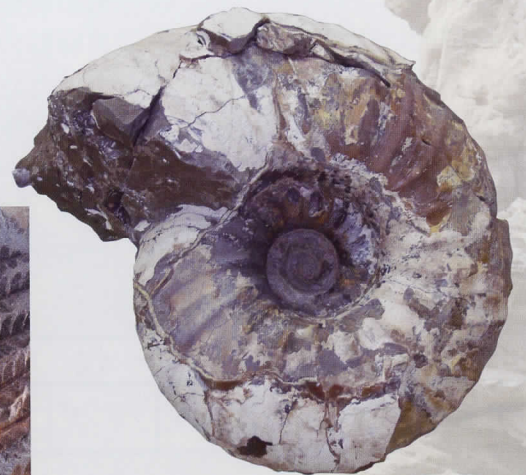
メヌイテス
北海道 白亜紀



チョフテア
福井県 白亜紀



クラドフレビス
福井県 ジュラ紀



ユーパキディスカス
北海道 白亜紀

新生代の化石その1～石川県の化石～

石川県の能登半島北部に位置する関野鼻に分布する約 1600 万年前の地層からは、サメの歯が主に見つかります。また、金沢市大桑には更新世の地層大桑層が分布しています。大桑層からは、ホクリクホタテをはじめとする海に生息する生物の化石が見つかり、友の会でも毎年のように巡検を行っています。



ハスタリスガメ
石川県 中新世



オンマイシカゲガイ
石川県 更新世



ホクリクホタテ
石川県 更新世

背景写真：関野鼻（石川県）の地層

新生代の化石その2～脊椎動物の化石～

友の会には、脊椎動物化石をテーマに収集をしている会員がいます。主に、可児市の木曽川に露出する可児層群（中新世、約 1800 万年前）や三重県の古琵琶湖層群（鮮新世、約 300 万年前）静岡県の谷下（やげ）の堆積物（更新世、約 2 万年前）から収集を行っています。可児層群からは、これまでにビーバーやアミア（淡水魚類）、コイ科の魚類の化石を収集しています。採集した標本の多くは、博物館に寄贈され、研究や展示に活用されています。中でもビーバーとアミアは新種であることが明らかになり、長年収集してきた合田会長の名前が付けられました。



ミノカスター・ゴウダイ
(ビーバーの前歯)
可児市 中新世
*赤線は会員名



アミア・ゴウダイ
可児市 中新世



コイ科魚類（咽頭歯）
三重県 鮮新世



ワニ（歯）
三重県 鮮新世



シカ（下アゴ）
静岡県 更新世

新生代の化石その3～渥美層群の化石～

愛知県田原市の遠州灘海岸に露出する渥美層群からは、約 40 万年前の貝やカニの化石がたくさん見つかります。友の会では、継続的に巡検を行っています。その中で、2006年には巣穴中に保存されたオオスナモグリ（エビの仲間）を発見し、論文となりました。最近も、会員が顕微鏡を駆使し、細かな化石を集め続けています。その結果、発見が相次ぎ、2014 年には小林会員が渥美層群から収集したトゲコブシの仲間のカニ化石が新種であることが分かり、コバヤシトゲコブシと名付けられました。



ヤツシロガイ
愛知県 更新世



巣穴化石（赤枠）中に保存されたオオスナモグリのツメ
愛知県 更新世



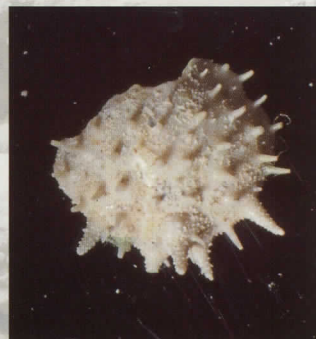
アカモンコブシ（甲羅）
愛知県 更新世



イボイチョウガニ（ツメ）
愛知県 更新世



イボイチョウガニ（甲羅）
愛知県 更新世



コバヤシトゲコブシ（甲羅）
愛知県 更新世

鉱物

化石博物館の友の会の巡検は、化石がメインテーマになりがちですが、時々各地の鉱物もテーマに巡検を行います。特に、中津川市は有名な鉱物の産地であり、トパーズや緑柱石などを継続的に採集する会員もいます。



灰長石
東京都



緑柱石
中津川市



鉄電気石
中津川市



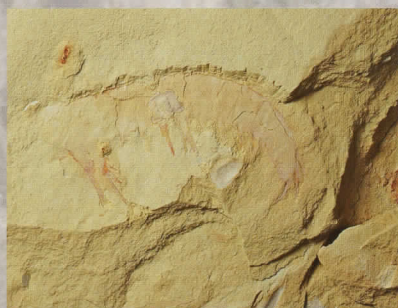
トパーズ
中津川市



コランダム
中津川市

海外の化石

友の会には、個人的に海外で化石を採集する会員もいます。本企画展では、アノマロカリスをはじめとするカンブリア紀の不思議な姿の生き物やアンモナイトの化石を展示します。



アノマロカリス
中国 カンブリア紀



アサフィカス（三葉虫）
アメリカ カンブリア紀

博物館への協力

友の会では、博物館の行事への協力も行っています。特別展の準備や「みずなみ化石教室」のボランティアもその一例です。特にみずなみ化石教室には毎回3～4名の会員が講師役となり、化石採集やレプリカ作りについて参加者にレクチャーしています。

他にも、博物館に標本を寄贈したり、現地調査や化石のクリーニングをはじめ学芸員と共同で研究をする会員もいます。このように、博物館と協力しながら友の会は40年を歩んできました。

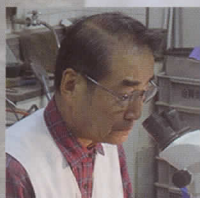


化石のクリーニング



会員による指導

友の会会員のコメント



小林会員

渥美層群の化石を採集し続けています。小さな化石が多いと思いますが、顕微鏡を使って根気よく探した化石ばかりです。小さくても、立派な形をもつ化石を楽しんでください。



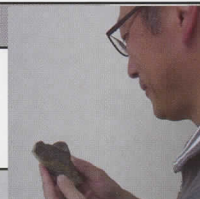
大平会員

鉱物を主に出品しました。鉱物の産地は、やぶこぎをしたり、川を歩いたりに行くのが大変です。苦労しながら採集した一品ばかりです。

背景写真：愛知県東栄町の地層を調査する友の会

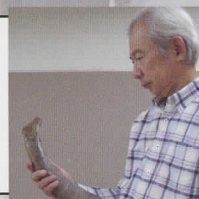
ひまさえあれば、三葉虫を追っかけています。東北は古生代の化石の宝庫です。10年以上通い続けていますが、まだ興味は尽きません。

可児市で調査を続けて20年以上、脊椎動物化石の分野で標本寄贈など博物館に協力してきました。友の会の活動がこの展示会で垣間見ることが出来ると思います。

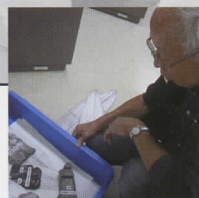


平野会員

展示したシカマイアはどのような生活していたかまだによくわかりません。私なりの解釈で展示してみました。



合田会長



渡辺会員

奥 付

企 画：瑞浪市化石博物館、化石博物館友の会

出品者：市原敏明、大平規子、片田 宏、合田隆久、小林伸明、下寫義輔、寺部由紀夫、戸邊欣一、平野芳幸、水野吉昭、脇島龍雄、渡辺基文